

第 9 回 西日本火山活動研究集会

福岡大学国際火山噴火史情報研究所 第 5 回研究集会

プログラム

日時：2015 年 2 月 7 日（土）～ 8 日（日）

会場：福岡大学七隈キャンパス 18 号館 1824 教室

2 月 7 日（土）午後

セッション 1：九州の火山地質学 13：00～15：30

1-01 奥野 充（福岡大）「土壌試料の放射性炭素年代：五島福江島，鬼岳降下スコリアの例」

1-02 田村智弥（西日本技術開発）・長谷中利昭（熊本大）・Paul Wallace（オレゴン大）・安田 敦（東京大）・森康（いのちのたび博）「九州の火山フロントにおけるマグマ生成プロセス～メルト包有物からのアプローチ～」

1-03 田島靖久（日本工営）「霧島火山群，甑岳火山の発達史—複成火山の類型化に向け—」

1-04 筒井正明（ダイヤコンサルタント）・小林哲夫（鹿児島大）「霧島火山群，御鉢火山におけるアグルチネートの形成機構」

1-05 成尾英仁（武岡台高）「幸屋火砕流による地層の横転現象」

1-06 小林哲夫（鹿児島大）「鬼界カルデラのアカホヤ噴火」

セッション 2：露頭データベースのための情報学 16：00～17：30

2-01 横田修一郎（元・島根大）「露頭データベースの作成はなぜ困難か？」

2-02 奥村 勝・矢羽田優輝・高橋伸弥・鶴田直之（福岡大）「露頭情報の収集と共有のための情報サイトと収集支援ツールの整備」

2-03 高橋伸弥・奥村 勝・鶴田直之（福岡大）「研究データ共有のための地理情報データベースサービスの構築」

2-04 鶴田直之（福岡大）「火山噴火史情報データベースの 2 次利用につ

いて」

2月8日(日)

セッション3：カルデラ火山とカルデラ噴火 9:00～14:00

3-01 稲倉寛仁(西日本技術開発)・成尾英仁(武岡台高)・奥野 充(福岡大)・小林哲夫(鹿児島大)「南九州，池田カルデラの噴火史」

3-02 下司信夫(産総研)「始良入戸火砕流噴出に至る前駆噴火過程：マグマ溜まりの減圧進行」

3-03 三浦大助(電中研)「陥没カルデラのサイズと噴出量，マグマ溜りの体積」

3-04 趙 大鵬(東北大)「高精度地震波トモグラフィーから見た活火山下の深部構造」

3-05 山崎秀人・長谷中利昭(熊本大)・安田 敦(東京大)「阿蘇-4火砕流堆積物の斜長石およびメルト包有物からみたマグマ組成の時間変化」

(昼食) 12:00～13:00

3-06 小林哲夫(鹿児島大)「カルデラ噴火の予知は可能か？」

3-07 奥野 充(福岡大)「桜島火山の噴火史からみた薩摩噴火の可能性」

3-08 田口幸洋(福岡大)「地獄や温泉地域に認められる高温酸性の火山性流体の名残り」

セッション4：インドネシアの火山 14:10～15:30

4-01 中田節也(東京大)・吉本充宏(富士火山研)・前野 深(東京大)・井口正人(京都大)「インドネシア Sinabung, Kelud 火山の噴火」

4-02 守屋以智雄(金沢大・名誉教授)「インドネシアの火山地形」

4-03 Agung Harijoko and Wayan Warmada「Volcanic history and geothermal activity in Dieng geothermal field, central Java, Indonesia」

セッション5：フィリピンの火山 15:40～17:00

5-01 Chris Newhall「Geology and crisis management of Pinatubo volcano, central Luzon, Philippine」

5-02 高島 勲（秋田大・名誉教授）「ピナツボ火山の TL 年代：予察的結果」

5-03 鳥井真之（熊本大）「パイタン湖のボーリング掘削（速報）」